

- 吉野川水系では、過去幾度となく豪雨災害に見舞われており、また、平成30年7月豪雨では、本山町、大豊町において、大規模な山腹崩壊が多数発生したことに伴い大量の土砂が流出し、高速道路の被災のほか、家屋の全壊、多数の世帯の孤立が生じるなど、甚大な被害が発生。
- 吉野川水系直轄砂防事業においては、特定緊急砂防事業を令和5年度予算で完了し、更に、水系全体の荒廃状況を踏まえた施設配置計画を策定のうえ、流域全体での土砂災害対策を推進することとしている。



政策提言

度重なる豪雨災害を受けている吉野川水系においては、再度災害防止の観点から、引き続き、水系全体の荒廃状況を踏まえた上で、事業実施に必要な予算を十分に確保し、より一層の事業促進をお願いします。